

ユリイカ ！



「世界マンガ大系」との表題のついた月刊誌「ユリイカ」の3月臨時増刊号は、ベルギーとフランスのマンガの合作の特集です。2月に行われた第16回文化庁メディア芸術祭のマンガ部門で大賞を受賞した、『闇の国々』の作家、ブノワ・ペーターズとフランソワーズ・スクイテンの、昨年、秋にアンスティチュ・フランセ日本で開催された催し「読書の秋」で行われた対談並びにインタビューが掲載されています。また、なぜ今、日本でこの仏・ベルギーによる合作が盛り上がりを示しているのか、専門家による解説や記事も多数掲載されています。また、スイスの漫画家、フレデリック・ペーターズによる約40ページに渡る作品『青い薬』（Atrabile 出版、2001年）も翻訳がこの特別号に掲載され、初めて日本の読者に紹介されています。フレデリック・ペーターズは、本年度の「フランコフォニーのお祭り」に招待されており、3月15日から24日まで、アンスティチュ・フランセ日本の各地方支部において、対談や講演会を行う予定です。

「ユリイカ」3月臨時増刊号、絶賛発売中

